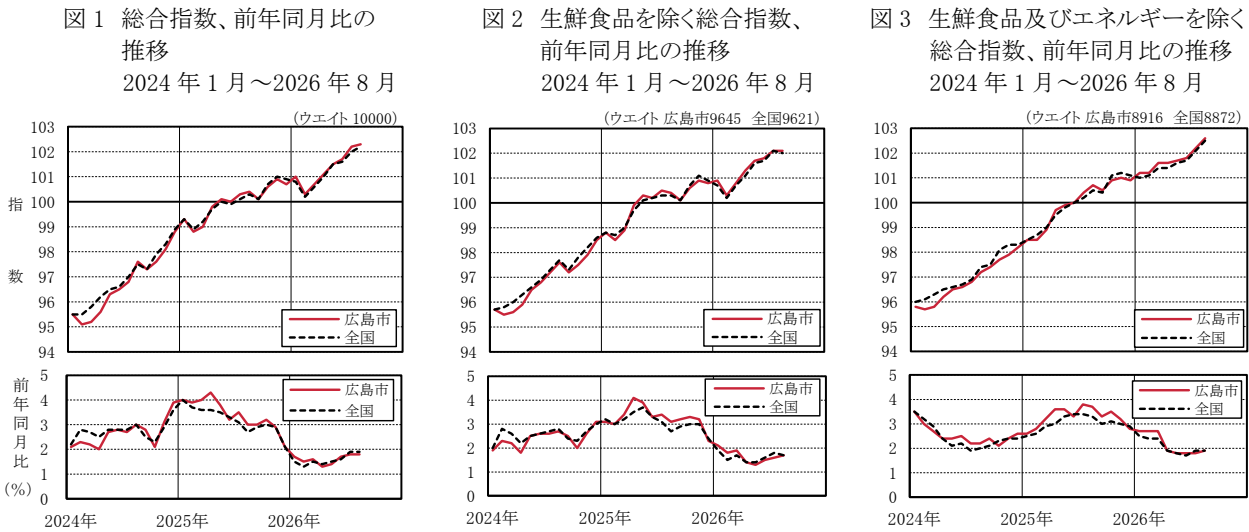


2025 年基準 広島市消費者物価指数
2026 年(令和 8 年)8 月分

1 概況

	指数	前年同月比 (%)	ポイント	前月比 (%)	ポイント
総合指数	102.3	1.8	58 か月連続の上昇	0.1	6か月連続の上昇
生鮮食品を除く総合指数	102.1	1.7	58 か月連続の上昇	0.0	前月と同水準
生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数	102.6	1.9	53 か月連続の上昇	0.4	4か月連続の上昇



(注) 前年同月比は各基準年の公表値による。グラフの右上数値は、2025 年基準指数のウエイト

2 前年同月との比較
～食料は上昇 教育は下落～

表 1 10 大費目指数、前年同月比、寄与度

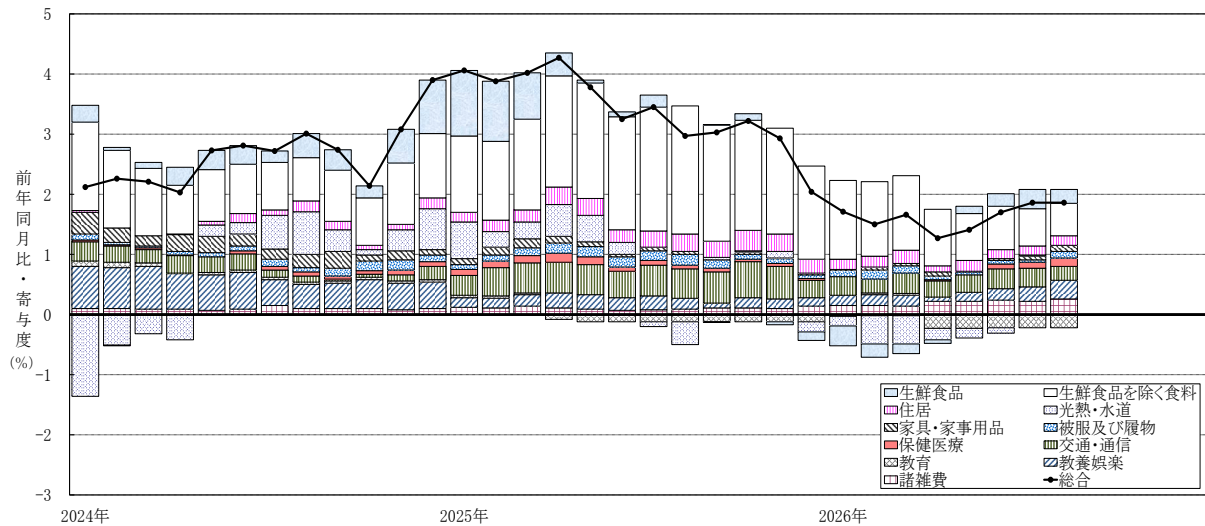
原数値	総合	食料	生鮮食品	生鮮食品を除く食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	エネルギー
指数	102.3	104.1	106.7	103.7	101.1	97.3	103.0	101.7	102.7	102.3	92.5	104.9	103.7	96.6
前年同月比 (%)	1.8	2.8	6.4	2.3	0.8	0.0	2.5	3.0	2.8	1.5	▲ 7.4	3.3	3.7	▲ 0.8
寄与度	1.8	0.77	0.23	0.54	0.16	0.00	0.10	0.11	0.14	0.23	▲ 0.22	0.31	0.26	▲ 0.06

(注 1) 寄与度は、物価全体(総合)の上昇(下落)に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。
本来、寄与度の合計は、総合指数の前(年同)月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。
(注 2) エネルギーは、光熱・水道のうち電気代、都市ガス代、プロパンガス、灯油と交通・通信のうちガソリン。

表 2 総合指数の前年同月比に寄与した主な内訳

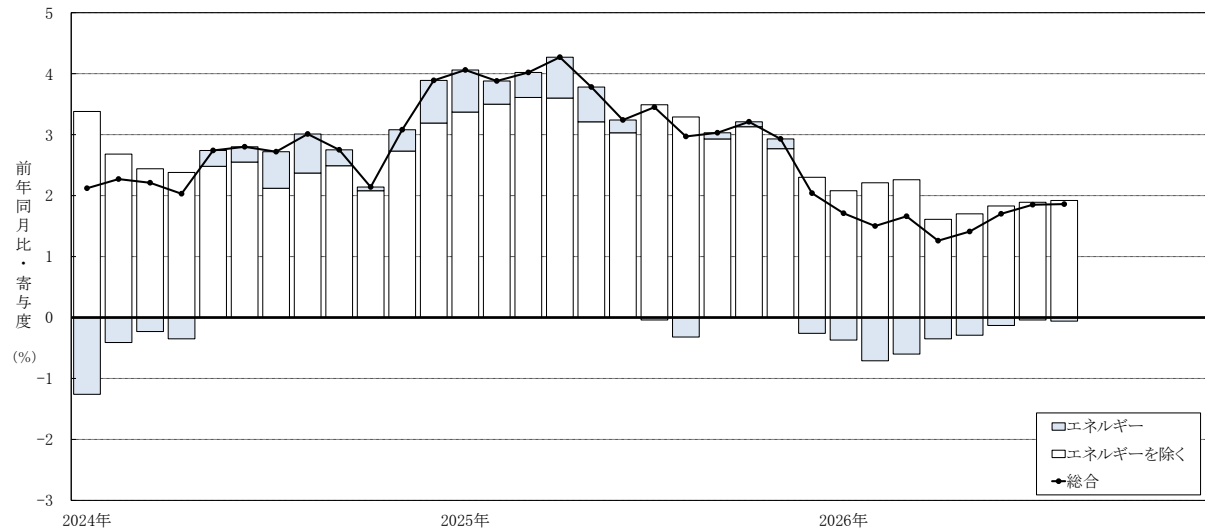
上 昇		下 落	
中分類 (主な品目)	寄与度	中分類 (主な品目)	寄与度
魚介類(えび 等)	0.17	授業料等(高等学校授業料(私立) 等)	▲0.30
野菜・海藻(キャベツ 等)	0.16	穀類(うるち米(コシヒカリを除く) 等)	▲0.17
調理食品(からあげ 等)	0.16	電気代(電気代)	▲0.06
他の諸雑費(葬儀料 等)	0.15	下着類(ランジェリー 等)	▲0.01
教養娯楽用品(ペットフード(キャットフード) 等)	0.14	家庭用耐久財(掃除機 等)	▲0.01

図4 総合指数の前年同月比に対する10大費目別寄与度の推移 2024年1月～2026年8月



(注) 前年同月比、寄与度は、各基準年の公表値による(2025年12月以前は2020年基準、2026年1月以降は2025年基準)。

図5 総合指数の前年同月比に対するエネルギー寄与度の推移 2024年1月～2026年8月



(注) エネルギーは、光熱・水道のうち電気代、都市ガス代、プロパンガス、灯油と交通・通信のうちガソリン。

3 前月との比較

～食料、教養娯楽は上昇 光熱・水道は下落～

表3 10大費目指数の前月比、寄与度

原数値	総合	食料	生鮮食品	生鮮食品を除く食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	エネルギー
前月比(%)	0.1	0.6	3.2	0.2	0.1	▲5.3	1.2	0.7	0.7	0.1	0.0	1.7	0.6	▲4.9
寄与度	0.1	0.16	0.12	0.04	0.02	▲0.36	0.05	0.02	0.03	0.01	0.00	0.16	0.04	▲0.35

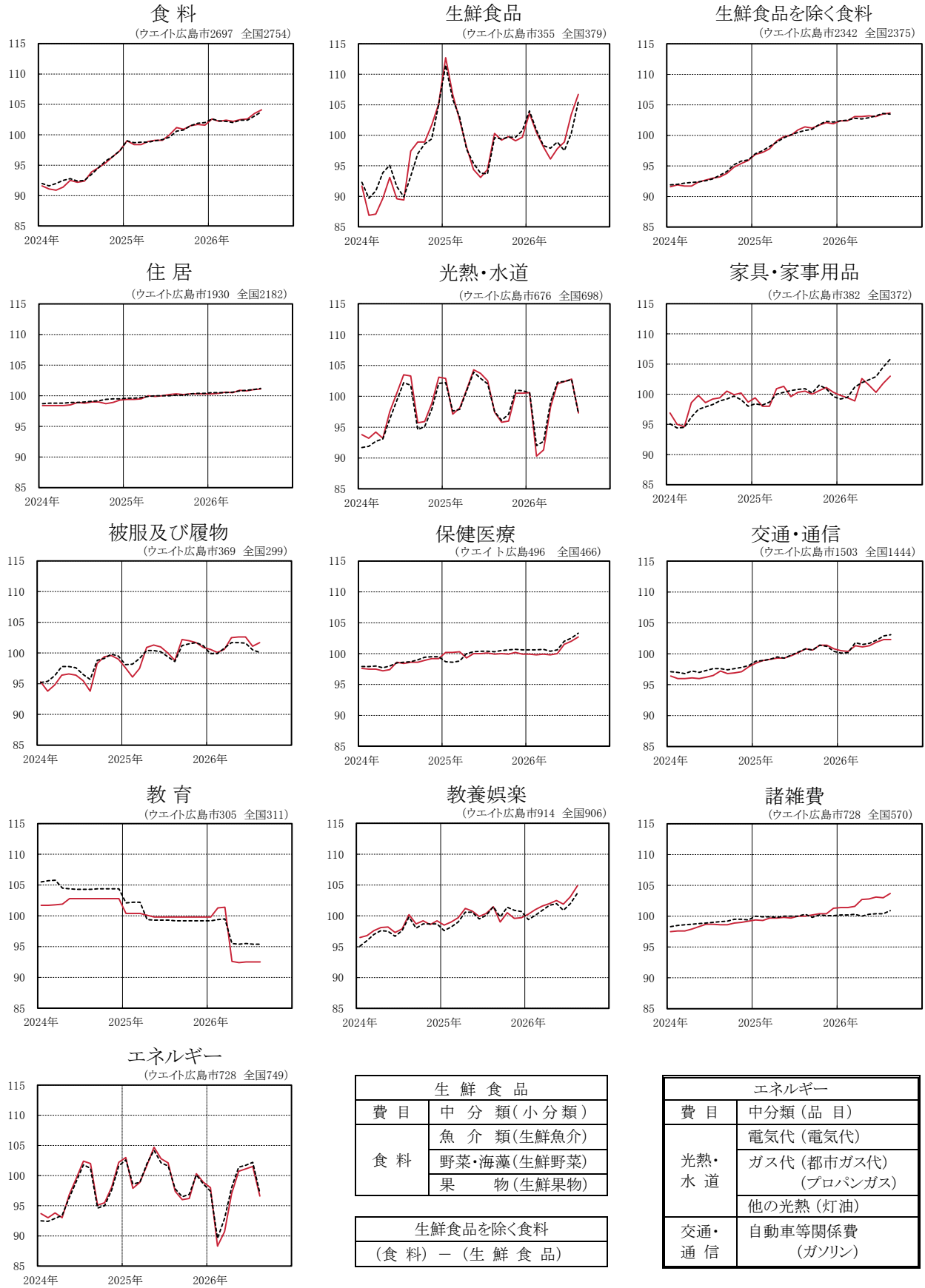
表4 総合指数の前月比に寄与した主な内訳

上 昇		下 落	
中分類 (主な品目)	寄与度	中分類 (主な品目)	寄与度
教養娯楽サービス(宿泊料 等)	0.09	電気代(電気代)	▲0.35
野菜・海藻(たまねぎ 等)	0.08	乳卵類(ヨーグルト 等)	▲0.02
教養娯楽用品(ペットフード(ドッグフード) 等)	0.05	油脂・調味料(乾燥スープ 等)	▲0.01
家事用消耗品(ポリ袋 等)	0.04	ガス代(都市ガス代 等)	▲0.01
保健医療サービス(診療代 等)	0.04	穀類(うるち米(コシヒカリ) 等)	▲0.01

図 6 10 大費目指数の推移 2024 年 1 月～2026 年 8 月

※グラフの右上の数値は、2025 年基準指数のウエイト

広島市 — 全国 - - - -



【利用上の注意】

- この資料は、総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計し、2025 年 1 月から 12 月までの 1 年間の品目別平均価格を基準(100)として品目別ウエイトを用いた加重平均により作成したもので、全て原数値です。
- 変化率及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合があります。